

2023 年度 最終 1 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第 1 問 (20 点)

設問 A

(1) 4 点

かつては光合成で気圏から生物圏に、生物が化石になって生物圏から地圏に炭素が移動したが、産業革命後は化石燃料の採掘で地圏から人間圏に、その燃焼で人間圏から気圏に炭素が移動している。(3 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【産業革命以前の炭素移動 (気圏→生物圏) について】

- 光合成による
 - ／植物により炭素固定される
 - ／二酸化炭素が光合成により植物内に取り込まれる

②<1 点> 【産業革命以前の炭素移動 (生物圏→地圏) について】

- 生物 (植物／動植物) が化石になる
 - ／生物 (植物／動植物) が石炭 (石油) になる
 - ／生物 (植物／動植物) から化石燃料がつくられる

③<1 点> 【産業革命以降の炭素移動 (地圏→人間圏) について】

- 化石燃料 (石炭／石油) の採掘 (※「利用／使用」は不可)
 - ／採炭／採油

④<1 点> 【産業革命以降の炭素移動 (人間圏→気圏) について】

- 化石燃料 (石炭／石油) の燃焼 (※「利用／使用」は不可)

(2) 2 点

海面上昇による水没の危機に瀕する島々から住民を移動させる。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【人工島の目的】

- 住民を移動させる／国民の移住地をつくる／人が住める場所をつくる
など「人が住むため」の意があれば可 (※「避難」など「一時的滞在」は不可)

②<1 点> 【①の背景】

- 島の水没／国土水没／海面上昇で住めなくなる

(3) 2 点

ツンドラ表土を氷層が覆い、トナカイがコケ等を食せなくなる。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【土壌名と温暖化の影響】

- ・ ツンドラ土／ツンドラ表土
 - （※「ツンドラ」のみは植生名なので不可）
 - ・ 氷層で覆われる／表面が凍る／コケ等が凍り付く
- } 2 つ揃って○1 点

②<1 点> 【動物名と①の影響】

- ・ トナカイ／カリブー
 - ・ 餌（コケなど）をとれなくなる
- } 2 つ揃って○1 点

(4) 2 点

永久凍土が融け、そこから温室効果ガスが大気中に放出される。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【土壌名と変化】

- 永久凍土が融（解・溶）ける

②<1 点> 【地球温暖化を加速させる理由】

- 温室効果ガス（二酸化炭素／メタン）が放出される

(5) 3 点

積乱雲を発達させる上昇気流が生じやすくなって局地的大雨が増えた上に、舗装面の増加で雨水が地中に浸透しづらくなったため。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【都市部の気象条件の変化】

- 局地的大雨が増えた／ゲリラ豪雨が増えた／短時間に大雨が降るようになった
- ／積乱雲が生じやすくなった
- × 地球温暖化により異常気象が多発した（←題意にそぐわないため不可）

②<1 点> 【地表面の変化】

- 舗装面の増加（コンクリートなどで覆われた）／緑地（地面）の減少

③<1 点> 【②の影響】

- 雨水が地中（地面）に浸透しない
- ／大量の雨水が短時間で下水道（側溝／河川）に流れ込む
- ／下水道（側溝／河川）の排水が追い付かない

設問 B

(1) 1 点

○火山噴火／噴火 (※「自然現象」が問われているので「火山」のみは不可)

(2) 3 点 ※[指定語句] オホーツク海気団 奥羽山脈 2 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

オホーツク海気団から冷湿なやませが吹く太平洋側は低温、それが奥羽山脈を越えフェーン現象が起きる日本海側は高温になった。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【収穫量の差異について】

- ・太平洋側 (岩手と宮城) と
 - ・日本海側 (秋田と山形) } で差異が生じたことがわかれば○1 点
- (奥羽山脈より東／西の表現でも可)

②<1 点> 【太平洋側について】

○オホーツク海気団から冷たい風 (やませ) が吹いた

③<1 点> 【日本海側について】

- 風が奥羽山脈を越え高温となる (低温ではなくなる)
- ／風が奥羽山脈を越えフェーン現象が起きる

(3) 3 点

雪深いが、過疎化により屋根の雪下ろしや除雪をする人がいない空き家や、それらの作業の困難な高齢者世帯の割合が増えてきた。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【冬の気候の特徴】

○雪深い／豪雪地帯／降雪量が多い (※「雪が多い」ことが分かれば可)

②<1 点> 【家屋の損壊や住民孤立の理由】

○屋根の雪下ろしができない／除雪ができない／除雪を担う人 (若者) がいなくなった

③<1 点> 【②の社会的背景】

- 空き家の増加／過疎化の進行
 - 高齢者世帯の増加／高齢化の進行
- } いずれかで○1 点

第 2 問 (20 点)

設問 A

(1) 2 点

世界金融恐慌や新型コロナウイルスの蔓延による世界的な不況。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【2009 年の要因】

- 世界金融恐慌／世界金融危機／第二次世界恐慌／リーマンショック
- ×「世界的不況／世界恐慌」のみ

②<1 点> 【2020 年の要因】

- 新型コロナウイルス (COVID-19) の蔓延 (パンデミック) / コロナ禍
- (※「コロナ」または「COVID-19」を指摘していれば可)

(2) 4 点

中国における鉄鋼業を中心とした産業の発展に伴う鉄鉱石や石炭などの資源需要を、主にオーストラリアからの輸入で賄っている。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【オセアニアの国名】

- オーストラリア

②<1 点> 【アジアの国名】

- 中国 (※「日本」のみは不可)

③<1 点> 【具体的な品目名】

- 石炭／鉄鉱石 (※「資源／鉱物／石油」のみは不可)

④<1 点> 【荷動き量急増の背景】

- (中国の) 鉄鋼業の発展／鉄鋼需要の増加／経済成長／産業の発展

(3) 3 点

早くから酸性雨の影響を受けた北欧では、SO_x、NO_x や CO₂ の排出が重油より少ない LNG の利用で環境負荷低減を図った。(2 行)

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2)> 【LNG の利用の意義】

- SO_x (硫黄酸化物) の排出が少ない
 - NO_x (窒素酸化物) の排出が少ない
 - CO₂ (二酸化炭素) の排出が少ない／温室効果ガスの排出が少ない
 - 大気汚染物質の排出が少ない／環境負荷が低い／環境問題への意識が高い
- } ○1 つ 1 点
2 点まで

②<1 点> 【とくに北欧で普及した背景】

- 早くから酸性雨の影響を受けた／酸性雨への対策として (※「酸性雨」に言及していれば可)

設問 B

(1) 2 点

a - アジア b - ヨーロッパ c - メキシコ d - カナダ

※4 個正解 →2 点 1~3 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 4 点

コンテナ船。国際分業の拡大で貿易量が急増した工業製品など、比較的高価で多様な貨物の効率的な海陸一貫輸送を可能にした。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【商船の船種】

○コンテナ船 (※「コンテナ」のみは不可。また、別行で記入している場合は加点しない。)

★以下②③は①「コンテナ船」の加点を加点の前提とする

②<2 点 (1 点×2)> 【①の優位性と重要性、特徴など】

○海陸一貫輸送が可能

／コンテナのまま海上輸送(船)から陸上輸送(トラック)に積み替えできる

／クレーンでコンテナごと機械的に(短時間で)荷役(積み替え)を行える

○工業製品の輸送に適している／多様な貨物を効率的に輸送できる

○コンテナの国際的な規格(大きさ)が統一された

○1 つ 1 点
2 点まで

③<1 点> 【①による輸送拡大の背景】

○国際分業の拡大／工業製品(中間品／部品)の貿易量の拡大

(3) 5 点※[指定語句] 工業化 スエズ パナマ 貿易戦争 4 つ全て 下線付き で使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。

ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。

下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

アジアの工業化に伴い西岸航路が成長したが、パナマ運河拡張で東岸航路の輸送力が高まった上、米中貿易戦争激化で製品輸入先が中国から東南アジアなどにシフトし、スエズ航路の利用も増えた。(3 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【1980 年代以降の西岸の港湾ウエイト上昇の背景】

○アジア(中国・韓国・日本など)の工業化／アジアとの貿易量の拡大

②<2 点 (1 点×2)> 【2010 年代からの事情 1】

○パナマ運河の拡張 (※「パナマ運河の開通」は不可) →1 点

○東岸からパナマ運河を利用した輸送(アジアへの輸送)が増えた →1 点

③<2 点 (1 点×2)> 【2010 年代からの事情 2】

○米中貿易戦争が激化／(アメリカ合衆国と)中国との間で貿易戦争が起こっている →1 点

(※「対中国」の意が無ければ不可)

○東岸からスエズ航路（スエズ運河）を利用した東南アジアとの貿易（輸送）が増えた →1 点

第 3 問 (20 点)

設問 A

(1) 2 点 (完答)

イー福井県 ウー北海道 エー大分県 (※「ア」は不問。また「県」の脱落は可。)

(2) 3 点

強い季節風が吹き広大な用地がある北海道は風力発電が盛んであり、本州と結ぶ送電容量が小さいので電力需給が道内で完結する。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)で「ウー北海道」と解答していることを加点の前提とする。

①<1 点> 【発電の特徴】

- 風力発電が盛ん／風力発電の割合が高い
 - 水力発電が盛ん／水力発電の割合が高い
- } いずれかで○1 点

②<1 点> 【①の背景となる自然環境】

(風力発電に関する言及の場合)

- 季節風が強く吹く／冬の北西季節風が強い
 - (※風向は無くてもよいが間違っていれば加点しない)
 - 広大な用地がある／巨大な風車を設置できる場所が多い
- } いずれかで○1 点

(水力発電に関する言及の場合)

- 河川や湖が多い／雪解け水を利用した発電が可能 →1 点

③<1 点> 【社会条件】

- 電力需給が道内で完結する／他の地方 (本州) との電力のやり取りが少ない
- ／本州と結ぶ送電容量が小さい

(3) 2 点

アでは原発事故の復興政策でメガソーラーが多数建設されたため。晴天が多く平野が広がる茨城県は太陽光発電の適地が多いため。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【アについて】

- 原発事故の復興政策／原発停止後に太陽光発電の設置が拡大した
- (※「原発事故 (停止) 後に増加したことが読み取れば可)

②<1 点> 【茨城県について】

- 晴天が多い／日射量が多い
 - 平野が広がる／平坦地が多い
- } いずれかで○1 点

(4) 3 点 ※[指定語句] 再生可能 送電網 2 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

再生可能エネルギーの発電・蓄電設備を地域に設置し、これを送電網につなげて小規模分散型の電力システムを構築すること。(2 行)

【加点ポイント】

①<3 点 (1 点×3)> 【安定した電力需給への取り組み】

- 再生可能エネルギーの発電設備を多く設置する
／一般家庭や企業での再生可能エネルギーの発電を奨励する
／再生可能エネルギーの使用を促す →1 点
- 蓄電設備を普及させる／蓄電機能を持つ電気自動車の奨励 →1 点
- 発電（蓄電）設備と送電網をつなげて小規模分散型の電力システムを構築する
／家庭や地域の発電を送電網でつなぎ地域で需給を調節する
／他地域と送電網でつないで連携する →1 点

設問 B

(1) 3 点

第三次産業が集中する都市地区の旧 A 市に比べ、人口密度が小さく農林業や木材加工業が盛んな地区が現 A 市に組み入れられた。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【合併前の旧 A 市の特徴】

- 第三次産業が集中（盛ん）／商業が発達／都市地区である／市街地が発達
(※「人口が多い」のみは不可)

②<2 点 (1 点×2)> 【現 A 市に組み入れられた地区の特徴】

- 人口密度が小さい／人口が少ない／過疎化が進む →1 点
- 農業（農林業）が盛ん／木材加工業が盛ん
／第一次産業や第二次産業が盛ん／農村地区である →1 点

(2) 3 点

高齢化により単身や夫婦のみ老年世帯が増え、人口の減る働き手世代も周辺農村部からの転入や単身・核家族化で世帯数を補った。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【世帯数増加の背景】

- 単身世帯が増えた／核家族化が進んだ

②<2 点 (1 点×2) > 【①の背景】

○高齢化／子の世代の独立／高齢者の単独世帯の増加

／平均寿命の伸びによって高齢者世帯が減りにくい →1 点

○働き手（若者）の転入／単身者（核家族）向けの住宅（アパート・マンション）の増加 →1 点

(3) 4 点 ※[指定語句] 集中 老朽化 2 つ全て 下線付き で使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

人口減少が進む農村地区で老朽化したインフラを更新できず、中心市街地でも空き家の増加が懸念される。そのため公共交通機関を整備し住民の生活圏を都市地区に集中させる施策が行われている。(3 行)

【加点ポイント】

①<2 点 (1 点×2)> 【課題】

- 老朽化したインフラを更新できない/老朽化した道路や上下水道などの整備ができない
/建物が老朽化する →1 点
- 空き家 (空き店舗) の増加/中心市街地の衰退 →1 点

②<2 点 (1 点×2)> 【取り組み】

- 公共交通機関の整備/中心市街地への交通アクセスを充実させる
/路面電車 (LRT) などの整備 →1 点
- 住民の生活圏を都市地区に集中させる/中心部に行政施設や商業施設と住宅を集中させる
/都市機能と居住地を中心部に集中させる/郊外から都市機能が集中する地域への居住を誘導
/居住や医療, 福祉施設を公共交通路線周辺に集中させる/公共交通沿線に居住を誘導する →1 点
(※上記のように、「交通」と「集中」に関する適切な取り組みがあれば広く許容する。)